

# 日本と世界で情報系技術者として活躍するために

2024年7月27日

一般社団法人日本技術者教育認定機構(JABEE)

専務理事 <sup>さんだ</sup> 三田 清文

E-mail [sanda@jabee.org](mailto:sanda@jabee.org)

Web Page <https://jabee.org>

X(旧Twitter) [https://twitter.com/jabee\\_official](https://twitter.com/jabee_official)

## ◆ 組織

- 設立:1999年 (非政府組織 NGO)
- 認定開始:2001年

## ◆ 連携

- 各専門分野の学会・協会(JABEE正会員)と連携

## ◆ 目標と活動

- 技術者教育の質向上と普及活動
- 国際的に通用する技術者の育成支援

## ◆ 認定・審査の流れ

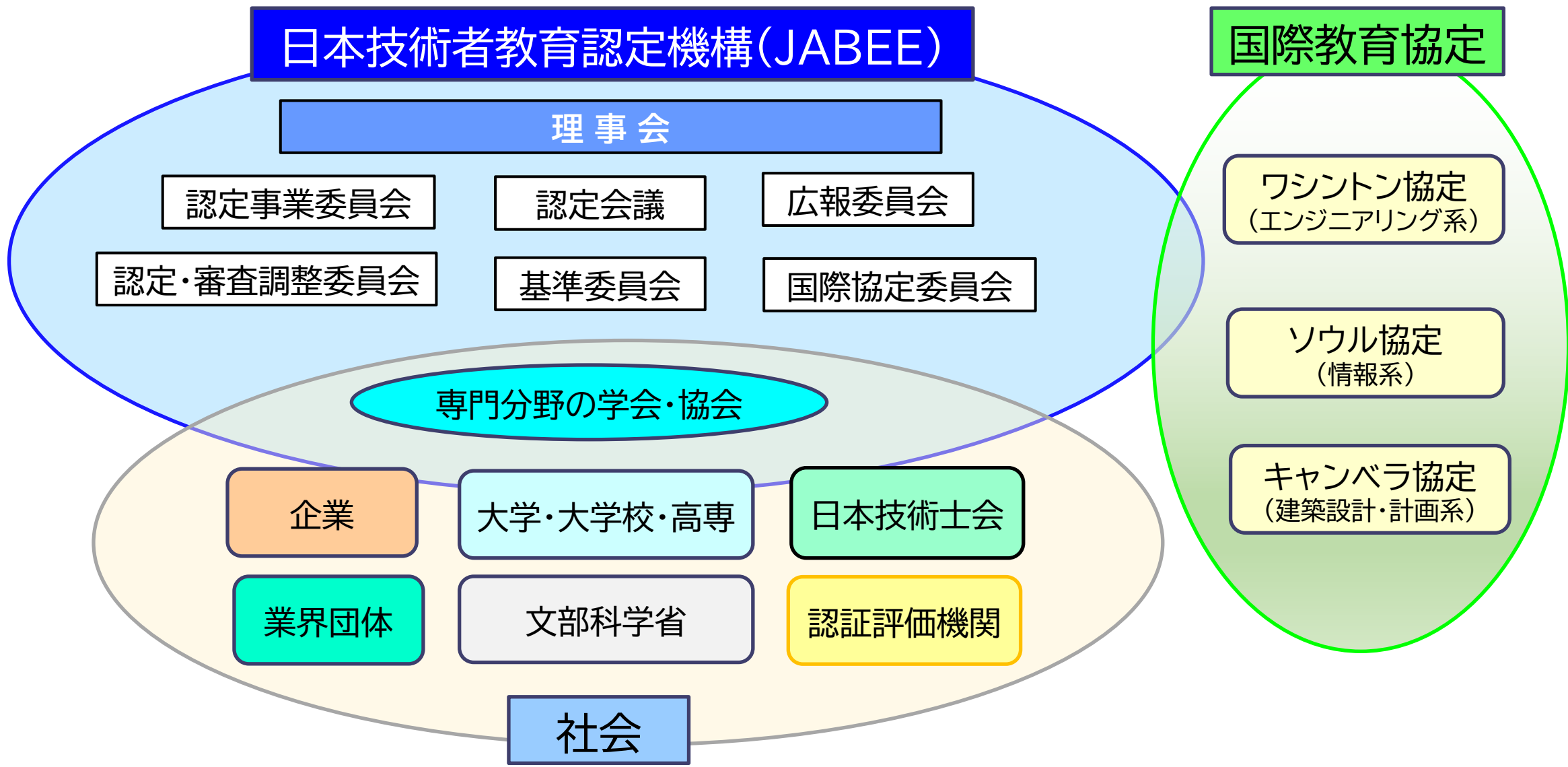
- ① 教育機関からの申請
- ② 技術者教育プログラムの審査
- ③ 認定(第三者認定)と公表、報告

# JABEEのあゆみ



年	沿革
1999年	日本技術者教育認定機構(JABEE)設立
2000年	学会、協会による分野別審査体制の整備と試行審査開始
2001年	学士課程プログラムの認定開始 ワシントン協定(Washington Accord)に暫定加盟
2004年	JABEE認定プログラム修了生が技術士第一次試験合格と同等の旨告示
2005年	ワシントン協定(Washington Accord)に加盟
2008年	ソウル協定(Seoul Accord:情報系)の設立と加盟 UNESCO-UIA(建築教育認定システム)に基づく認定開始
2009年	一般社団法人日本技術者教育認定機構として登記
2010年	専門職大学院の認証評価機関として認証され、認証評価を開始 ソウル協定対応プログラム認定開始
2019年	キャンベラ協定(Canberra Accord:建築・計画系)に加盟
2022年	国立高専機構KIS認定機関の認証評価開始
2024年	創立25周年

# JABEEと関連機関

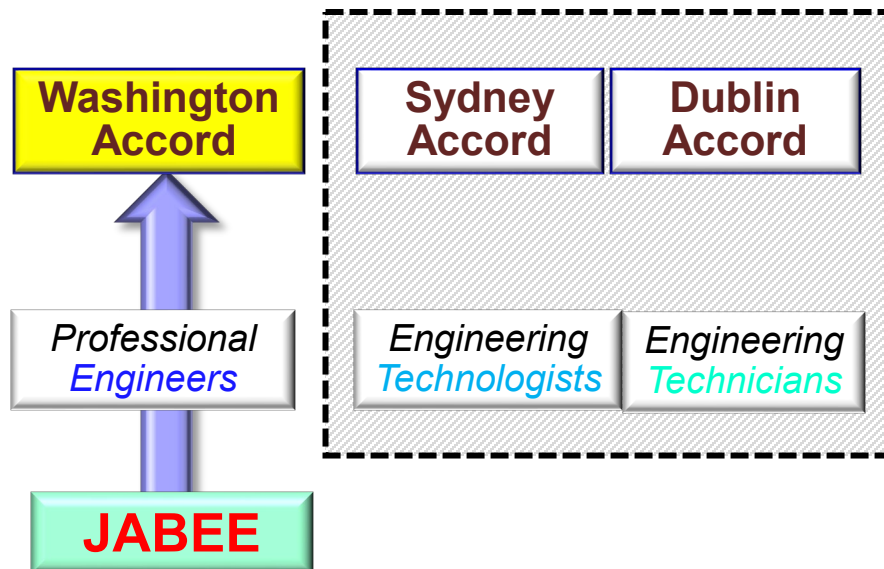


# 国際エンジニアリング連合(IEA)

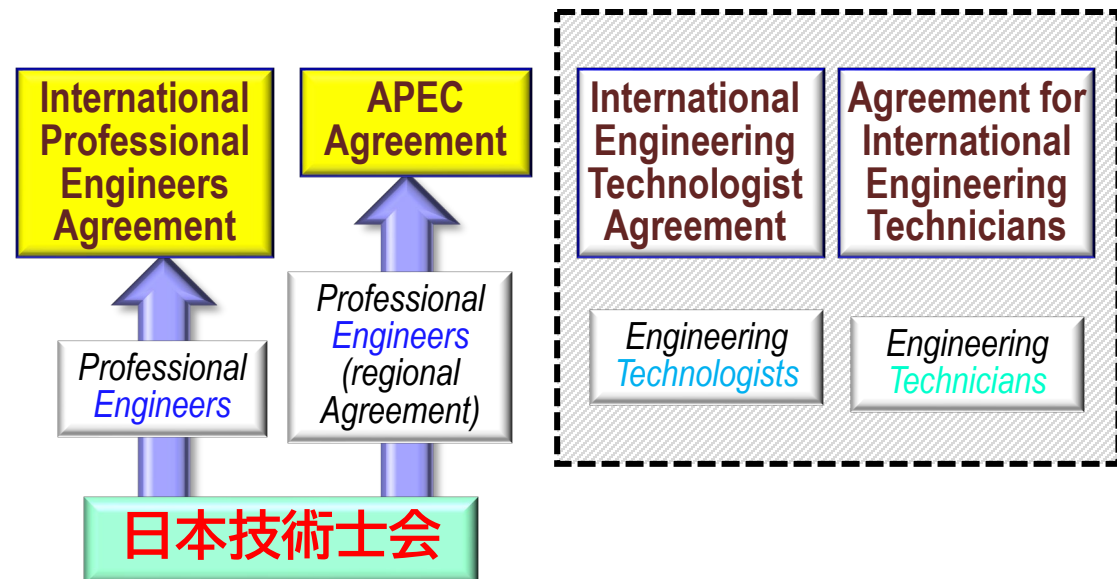
IEAは、高等教育機関における教育の質保証・国際同等性の確保と、専門職資格の質の確保・国際流動化を目的として設立された国際組織

## International Engineering Alliance

### Educational Accords (教育協定)



### Competence Recognition/ Mobility Agreements (専門職資格認定)



# ソウル協定(Seoul Accords)

- ワシントン協定が技術者教育の質的同等性を国際的に認め合う協定であるのに対し、**情報系技術者教育の認定**を国際的に相互承認するためにソウル協定を設立(2008年)

The Seoul Accord is a multi-lateral agreement among agencies responsible for accreditation and recognition of tertiary-level computing and IT-related education.

- 加盟団体が行っている認定プログラムの同等性を相互承認
  - 認定プログラム修了者への特典の相互共有へ
  - 相互に質点検(System Review)⇒改善要請・格下げ措置も

- 同等性の基準(Rules and Procedures)と卒業生の属性(Graduate Attributes)を定めている
  - 教育方法、教育手段などを問わない(Outcomes Assessment)

# ソウル協定に加盟する情報系教育認定団体 国、地域



正式加盟:  の国、地域  
暫定加盟: スリランカ、ニュージーランド、ペルー、フィリピン  
● 印はワシントン協定加盟団体のある国、地域(25団体)

2024年6月現在 13団体  
加盟団体数は**増加傾向**



# 2024年ソウル協定中間会議

6月15日～16日 インド ニューデリー近郊で中間会議を開催  
(隔年で総会を開催し、総会のない年に中間会議を開催)  
リモート参加の2団体を含め17団体から34名が参加

今回の中間会議で新たに正式加盟が認められた団体

- ・ インドネシア IABEE
- ・ アイルランド EI
- ・ サウジアラビア ETEC
- ・ マレーシア MOBT

正式加盟は13の国と地域の団体



SAMM2024会議場



# ソウル協定加盟団体の認定プログラム数

	加盟団体(国・地域)	加盟年	プログラム数		
			2022	2023	2024
1	ABEEK* 韓国	2008年	26	36	33
2	ABET* 米国	2008年	586	615	638
3	ACS* オーストラリア	2008年	354	402	446
4	BCS* 英国	2008年	505	464	837
5	CONAIC メキシコ	2021年	132	130	123
6	CIPS* カナダ	2008年	42	42	34
7	HKIE 香港	2009年	16	17	17
8	IEET 台湾	2009年	52	54	56
9	JABEE* 日本	2008年	18	18	17
10	IABEE インドネシア	2024年	-	-	7
11	EI アイルランド	2024年	-	-	256
12	MOBT マレーシア	2024年	-	-	53
13	ETEC サウジアラビア	2024年	-	-	17

\*は設立時に批准した原加盟団体

# JABEEの認定種別と認定分野



[認定種別]

エンジニアリング系学士課程

(ワシントン協定)

情報専門系学士課程

(ソウル協定)

エンジニアリング系修士課程

[認定分野]

- 化学及び関連のエンジニアリング分野
- 機械及び関連の工学分野
- 材料及び関連の工学分野
- 地球・資源及び関連のエンジニアリング分野
- 電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野
- 電気・電子及び関連の工学分野
- 土木及び関連の工学分野
- 農業工学及び関連のエンジニアリング分野
- 工学(融合複合・新領域)及び関連のエンジニアリング分野
- 建築学・建築工学及び関連のエンジニアリング分野
- 物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野
- 経営工学及び関連のエンジニアリング分野
- 農学一般及び関連のエンジニアリング分野
- 森林及び関連のエンジニアリング分野
- 環境工学及び関連のエンジニアリング分野
- 生物工学及び関連のエンジニアリング分野

- CS(コンピュータ科学)分野
- DS(データサイエンス)分野
- IS(情報システム)分野
- IT・CSec(インフォメーションテクノロジー・サイバーセキュリティ)分野
- 情報一般分野

建築系学士修士課程

(キャンベラ協定)

- 建築設計・計画系分野
- (学士課程+修士課程の6年間の課程)

# 分野別認定プログラム数(2022年度末時点)(注)

	分 野	件数
1	土木および土木関連分野／土木及び関連の工学分野	57
2	機械および機械関連分野／機械及び関連の工学分野	43
3	電気・電子・情報通信およびその関連分野／電子情報通信・コンピュータ及び関連の工学分野／電気電子及び関連の工学分野	33
4	工学(融合複合・新領域)関連分野／工学(融合複合・新領域)及び関連のエンジニアリング分野	32
5	建築学および建築学関連分野／建築学・建築工学及び関連のエンジニアリング分野 建築系学士修士課程(建築設計・計画系分野)	29
6	情報および情報関連分野／情報専門系学士課程(CS、IS、IT・CSec、情報一般分野)	18
7	化学および化学関連分野／化学及び関連のエンジニアリング分野	17
8	農業工学関連分野／農業工学及び関連のエンジニアリング分野	13
9	農学一般関連分野／農学一般及び関連のエンジニアリング分野	11
10	地球・資源およびその関連分野／地球・資源及び関連の工学分野	9
11	材料および材料関連分野／材料及び関連の工学分野	7
12	生物工学および生物工学関連分野／生物工学及び関連のエンジニアリング分野	5
13	物理・応用物理学関連分野／物理・応用物理学及び関連のエンジニアリング分野	4
14	森林および森林関連分野／森林及び関連のエンジニアリング分野	3
15	経営工学関連分野／経営工学及び関連のエンジニアリング分野	3
16	環境工学およびその関連分野／環境工学及び関連のエンジニアリング分野	2

2023年度後期審査がまだ完了していませんので  
2022年度末時点の認定プログラム数を示します

# 情報専門系学士課程認定プログラムと教育機関

教育機関名	学部名	認定プログラム名	認定分野
会津大学	コンピュータ理工学部	国際技術者育成プログラム	CS
茨城大学	工学部	情報工学科	CS
大分大学	理工学部	知能情報プログラム	CS
大阪工業大学	情報科学部	コンピュータ・サイエンスコース	CS
金沢工業大学	工学部	情報工学科	CS
九州工業大学	情報工学部	知能情報工学科	CS
九州産業大学	理工学部	総合教育プログラム	CS
近畿大学	工学部	情報システムコース	IS
帝京大学	理工学部	情報科学コース	CS
東京都市大学	知識工学部	情報科学科	CS
東京都立産業技術高等専門学校	専攻科	情報工学プログラム	CS
豊橋技術科学大学	工学部	情報・知能工学プログラム	CS
南山大学	理工学部	情報技術専修コース	CS
新潟国際情報大学	経営情報学部	情報システム技術プログラム	IS
日本大学	生産工学部	情報工学コース	CS
福岡大学	工学部	情報システムコース	CS
宮崎大学	工学部	情報システム工学科JABEE認定プログラム	CS

2023年度末現在

# 米国の大学の認定プログラム

- カリフォルニア州立大学

州内23大学のうち 12大学は情報系プログラムがABET認定を受けている  
Computer Engineering, Computer Science  
Computer Information System/Technology

- カリフォルニア大学

10校の大学のうち 6大学がABETの認定を受けている

米国は、全教育機関のうち 認定対象となる学科・コースの**90%**が認定団体ABETの認定(ソウル協定、ワシントン協定)を受けている

- 台湾では**75%**が中華工程教育學會(IEET)の認定を受けている
- JABEEの認定プログラム数は対象となる学科、専攻全体の**20%**程度
- 情報系の学科・専攻では**10%以下**しか認定を受けていない

# 米国の就職検索サイトで“ABET IT”で検索すると...

全米で 1,000件以上の求人(7月17日時点) 認定プログラムの修了者が **就職要件**

The screenshot shows the Indeed website interface. At the top, the Indeed logo is on the left, and navigation links for 'Home', 'Company reviews', and 'Find salaries' are on the right. A search bar contains 'ABET IT' with a magnifying glass icon and a red arrow pointing to it. To the right of the search bar is a location input field with a location pin icon and the text 'City, state, zip code, or "remote"', followed by a blue 'Search' button. Below the search bar are several filter buttons: 'Date posted', 'Remote', 'Pay', 'Job type', 'Encouraged to apply', 'Location', 'Company', and 'Posted by'. Below these are 'Experience level' and a selected filter 'Bachelor's degree' with a close icon. The main content area shows a job listing for 'IT Professional' at 'CEDENT' in 'Alexandria, VA'. The listing includes a 'Sort by: relevance - date' option and a '1,000+ jobs' indicator with a question mark. A red arrow points to the '1,000+ jobs' text. The job details include the title 'IT Professional', company 'CEDENT', location 'Alexandria, VA', and a description: 'Title: IT Professional - Alexandria, VA. Terms of Hire: Full Time. If you are looking for a team-oriented environment where hard work and a passion for...'. There is a 'Posted 14 days ago' and a 'More...' link. A detailed view of the job listing is shown on the right, including the title 'IT Professional', company 'CEDENT', location 'Alexandria, VA', and job type 'Full-time'. It also features an 'Apply now' button and a 'Profile insights' section with a 'Skills' indicator.



# JABEE認定を受けない/辞める理由(1/2)

## リーディング大学(伝統的大学)が技術者教育認定を受けない

- 国の政策として研究者の育成を重視し、大学院教育に中心をおいているため学部教育の教育認定は受けない
- 海外からの留学生は学部卒者を受け入れているので、JABEE認定は必要としない
- 教員の業績評価は研究成果に重点をおかれているため、JABEE認定を一生懸命にやっても評価されない
- 法令で義務付けられる機関別認証評価や法人評価に加え、第三者評価として専門分野の認定を受けることが負担となる

# JABEE認定を受けない/辞める理由 (2/2)

認定を受けていたプログラムが離脱していく

- 予算の減額  
運営費交付金が減額され、JABEEの審査費用を捻出できない
- 教職員の不足  
教職員が減少し、多忙なために認定作業に割ける余力がない
- 学生数の減少  
JABEEコースを選択する学生が少なく、投資対効果が悪い
- 認知度の低さ  
企業にJABEEが知られておらず、就職時のメリットがない
- 評価はできる  
これまでに審査を受けてきたので、自大学で評価ができる

# JABEE審査の改善と審査結果の活用

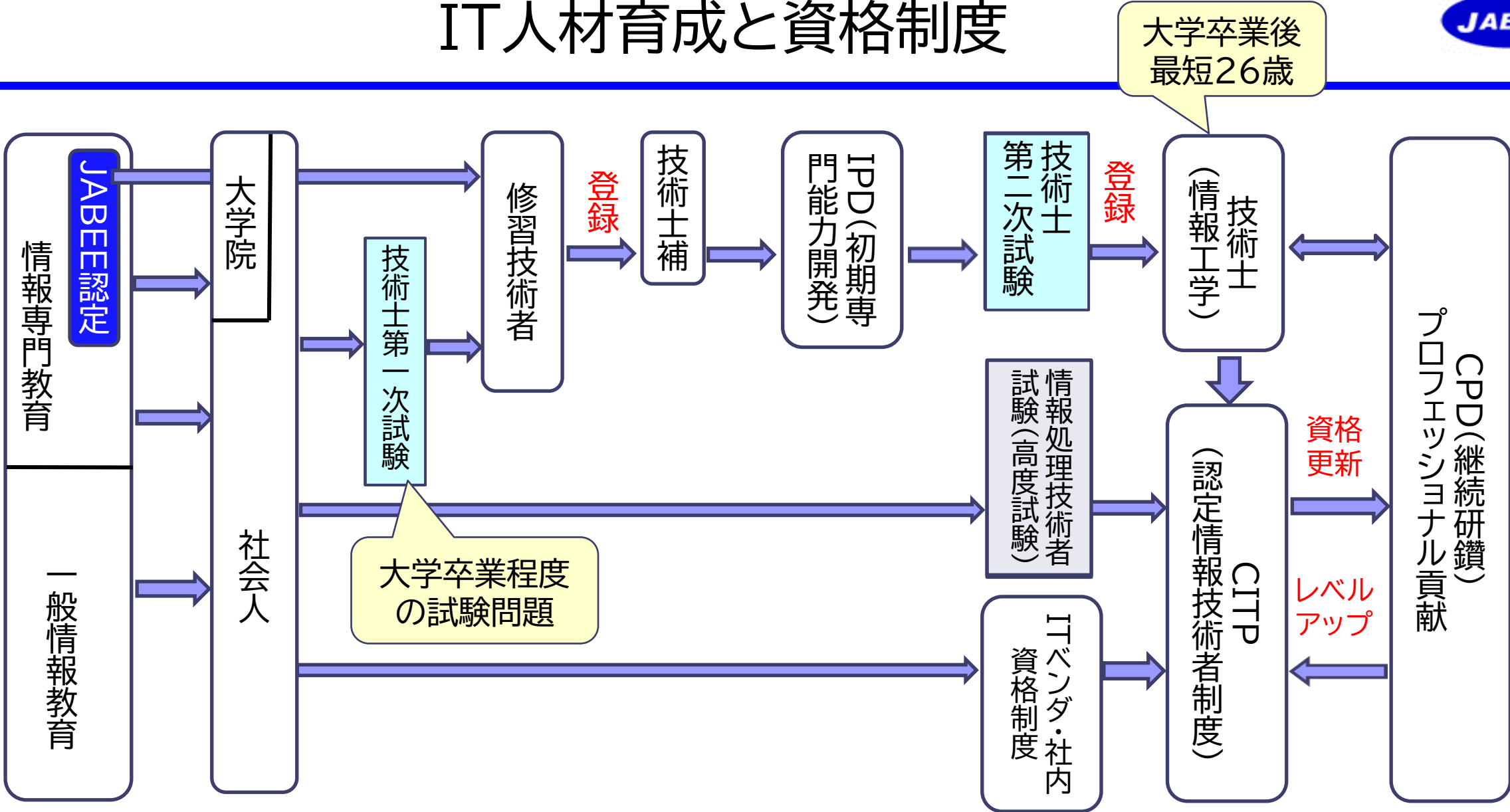
## 1. 審査負荷の改善

- 認定基準項目の大括り化: 26項目 ⇒ 11項目(2019年度基準改定)
- Webの活用による実地審査の一部(教職員、学生、修了生等の面談等)をオンラインにて実施(2025年度から改定予定)
  - (従来) 教育機関に3人の審査員が出向いて2泊3日の現地審査実施
  - (今後) オンライン審査を併用し、1人の審査員が1日を目安に訪問審査実施  
(オンライン会議で会議時間の設定が容易になり、移動時間も短縮)
- 国立高専国際標準(KIS)評価結果をJABEE審査で活用 (実施に向けて改善中)

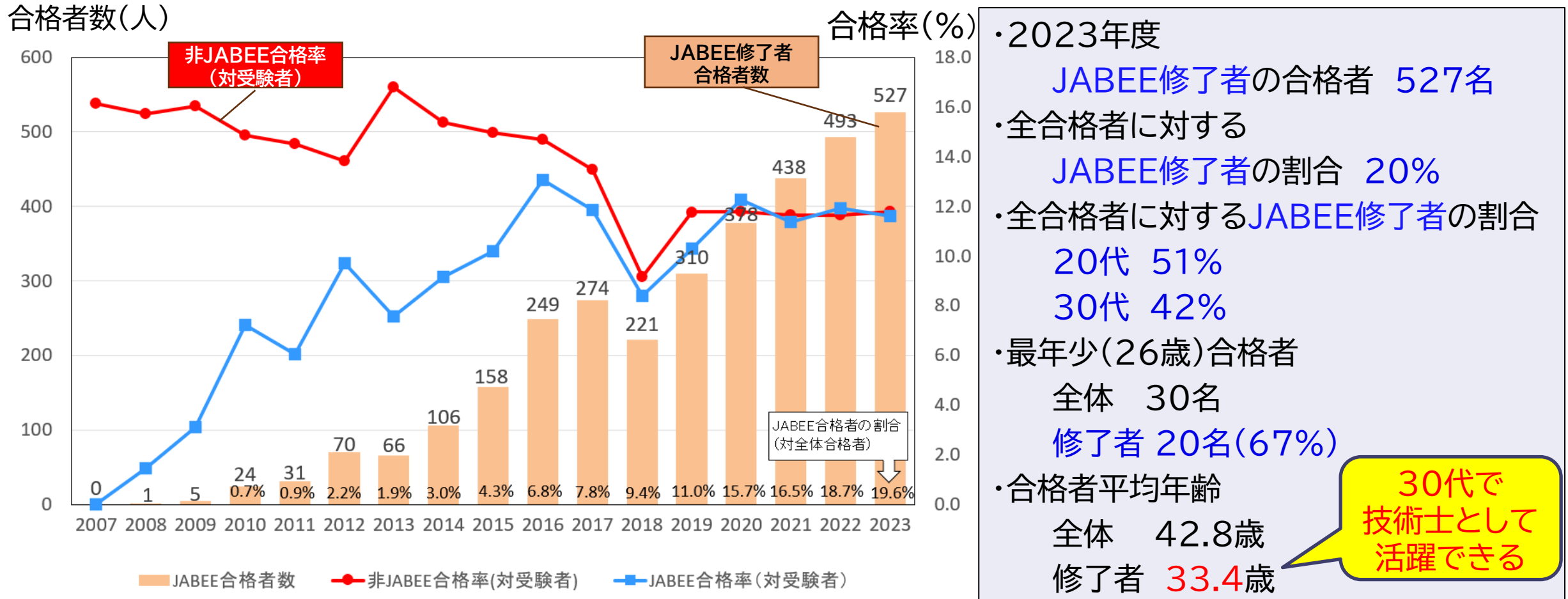
## 2. 審査結果の活用

- 大学改革支援・学授与機構が行う機関別認証評価での活用
  - 領域6(教育課程の編成および実施)について、JABEEの認定結果にて記載を省略できる
- 高等専門学校専攻科評価に於けるJABEE認定結果の活用

# IT人材育成と資格制度



# 技術士第二次試験合格者数・合格率の推移



注1:「JABEE合格者数」は、技術士第二次試験に合格したJABEE認定プログラム修了者の数を表す

注2:「JABEE合格率」はJABEE認定プログラム修了者の技術士第二次試験の合格率(受験者中の合格者の割合)を表す

注3:「非JABEE合格率」はJABEE認定プログラム修了者を除いた受験者の技術士第二次試験の合格率を表す

# 技術士会のある企業

2024年4月

JABEE

1	株式会社日立製作所	21	三菱重工業株式会社
2	株式会社東芝	22	株式会社ネクスコ・エンジニアリング東北
3	日本電気株式会社	23	総合警備保障株式会社
4	富士通株式会社	24	一般社団法人原子力安全推進協会
5	三菱電機株式会社	25	株式会社総合車両製作所
6	富士電機ホールディングス株式会社	26	太平洋セメントグループ
7	ソニー株式会社	27	株式会社関電工
8	パナソニック株式会社	28	日本工営株式会社
9	株式会社明電舎	29	マツダグループ各社
10	日本無線株式会社	30	日本化薬株式会社
11	日本電信電話株式会社	31	AGC株式会社
12	日本IBM株式会社	32	宇部興産グループ会社
13	株式会社トーエネック	33	株式会社荒谷建設コンサルタント
14	株式会社ユアテック	34	株式会社協和エクシオ
15	株式会社復建技術コンサルタント	35	極東開発工業株式会社
16	帝人株式会社	36	西日本高速道路エンジニアリング関西株式会社
17	日揮ホールディングス株式会社	37	旭化成株式会社
18	千代田化工建設株式会社	38	日本製鉄株式会社
19	東洋エンジニアリング株式会社	39	大成建設株式会社
20	川崎重工業株式会社		

JABEE認定プログラムで  
学ばれた方は  
就職試験の応募書類に  
修了見込みまたは修了と  
書いてください

日本技術士会HPより引用

[https://www.engineer.or.jp/c\\_cmt/soumu/topics/001/001883.html](https://www.engineer.or.jp/c_cmt/soumu/topics/001/001883.html)

© 2024 JABEE All Rights Reserved



教育の内容(教育目標、カリキュラム、シラバス、達成度評価等)を認定基準に基づき審査し、基準を満たしていれば認定して社会に公表する

## □ 認定の対象

高等教育機関(大学、大学院、高専[本科4-5年+専攻科]、大学校等)における工学系、農学系及び理学系の教育課程(認定の単位=「プログラム」)

《認定する単位の例》

○○大学工学部情報科学科

○○大学情報工学部情報システム学科コンピューターサイエンスコース

…等々

## □ 分野別の認定

《認定する分野の例》

CS(コンピュータ科学)分野(例:情報工学科)

IS(情報システム)分野(例:情報システムコース)

機械及び関連の工学分野(例:機械工学科)

…等々

# JABEEの認定基準 (2019年度基準項目)

## 基準1 学習・教育到達目標の設定と公開

- 1.1 自立した技術者像の設定と公開・周知
- 1.2 学習・教育到達目標の設定\*と公開・周知

## 基準2 教育手段 (\*知識・能力観点(a)~(i)を含んで設定すること)

- 2.1 カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程、科目の設計と開示
- 2.2 シラバスに基づく教育の実施と主体的な学習の促進
- 2.3 教員団、教育支援体制の整備と教育の実施
- 2.4 アドミッション・ポリシーとそれに基づく学生の受け入れ
- 2.5 教育環境及び学習支援環境の運用と開示

## 基準3 学習・教育到達目標の達成

- 3.1 学習・教育到達目標の達成
- 3.2 知識・能力観点から見た修了生の到達度点検

## 基準4 教育改善

- 4.1 内部質保証システムの構成・実施と開示
- 4.2 継続的改善

## 分野別要件

認定種別／認定分野ごとに固有な事項を規定

# SA Graduate AttributesとJABEEの認定基準

## ソウル協定(SA)の Graduate Attributes

1	専門教育
2	情報系問題解決に対する知識
3	問題分析
4	解決策のデザイン/立案
5	最新ツールの活用
6	個人とチームワーク
7	コミュニケーション
8	情報系専門家と社会
9	倫理
10	生涯学習

JABEE認定基準(基準2.1)  
カリキュラム・ポリシーに基づく教育課程、科目の設計と開示

## JABEE認定基準(基準1.2)の知識・能力観点

(a)	地球的視点から多面的に物事を考える能力とその素養
(b)	技術が社会や自然に及ぼす影響や効果、及び技術者の社会に対する貢献と責任に関する理解
(c)	数学、自然科学及び情報技術に関する知識とそれらを応用する
(d)	当該分野に適用する
(e)	種々の利を決定するた
(f)	論理的なシヨン能
(g)	自主的、継続的に学習する能力
(h)	与えられた制約の下で計画的に仕事を進め、まとめる能力
(i)	チームで仕事をするための能力

ソウル協定のGAに準じてJABEEの情報専門系学士課程プログラムの個別基準として勘案事項を定めている

JABEE認定プログラム修了者の技術者としての**キャリアを築く上での優位性**

## ■ 国際的な通用性

JABEE認定を受けたプログラム修了者は、技術者教育の実質的同等性を国境を越えて相互に承認し合う**ワシントン協定・ソウル協定**の他国(地域)の**加盟団体の認定プログラム修了者と同等と評価され、グローバルに通用します**

～文部科学省中央教育審議会で「**出口における質保証**」を審議～

昨年「学修者本位の大学教育の実現に向けた今後の振興方策について」公表され質保証の充実と強化に向けた方向性として、JABEEの技術者教育認定が「**国際的な協定に基づき国際的な同等性が認められる仕組みである**」ことを明記

## ■ 技術士資格への優遇

- ・ 認定プログラム修了者は、**技術士第一次試験が免除**され、登録後「技術士補」
- ・ 4～7年の実務経験後、第二次試験に合格・登録すれば、国家資格の**「技術士」**

## ■ 資格試験への優遇

- ・ 民間団体が実施する技術力を示す資格試験にても優遇措置あり
- ・ 土地改良測量設計技術協会が実施する  
**『農業土木技術管理士』**や**『農業用ため池管理保全技士』**の1次試験免除  
また、JABEE履修期間を実務経験としてカウントし、早期の受験が可能
- ・ **情報処理技術者試験**でも、**科目試験の一部免除**実現に向けて検討推進中

## 専門分野の学会・協会所属の専門家がJABEEの委員／審査員として活動頂いている

1	公益社団法人 応用物理学会	20	一般社団法人 園芸学会	39	公益社団法人 日本食品科学工学会
2	一般社団法人 日本物理学会	21	公益社団法人 空気調和・衛生工学会	40	公益社団法人 日本水産学会
3	公益社団法人 化学工学会	22	一般社団法人 経営情報学会	41	日本水産工学会
4	公益社団法人 日本化学会	23	公益社団法人 計測自動制御学会	42	公益社団法人 日本造園学会
5	経営工学関連学会協議会	24	一般社団法人 研究・イノベーション学会	43	公益社団法人 日本船舶海洋工学会
6	一般社団法人 資源・素材学会	25	公益社団法人 高分子学会	44	一般社団法人 日本塑性加工学会
7	一般社団法人 情報処理学会	26	公益社団法人 自動車技術会	45	公益社団法人 日本地下水学会
8	一般社団法人 森林・自然環境技術教育センター	27	公益社団法人 地盤工学会	46	一般社団法人 日本地質学会
9	一般社団法人 電気学会	28	一般社団法人 照明学会	47	日本農業工学会
10	一般社団法人 電子情報通信学会	29	一般社団法人 ターボ機械協会	48	公益社団法人 日本農芸化学会
11	公益社団法人 土木学会	30	公益社団法人 電気化学会	49	一般社団法人 日本品質管理学会
12	一般社団法人 日本機械学会	31	一般社団法人 電気設備学会	50	日本緑化工学会
13	公益社団法人 日本技術士会	32	一般社団法人 日本応用地質学会	51	一般社団法人 日本森林学会
14	一般社団法人 日本建築学会	33	公益社団法人 日本オペレーションズ・リサーチ学会	52	一般社団法人 日本ロボット学会
15	公益社団法人 日本工学教育協会	34	公益社団法人 日本金属学会	53	一般社団法人 農業食料工学会
16	公益社団法人 日本生物工学会	35	公益社団法人 日本経営工学会	54	公益社団法人 腐食防食学会
17	一般社団法人 日本鉄鋼協会	36	一般社団法人 日本航空宇宙学会	55	公益社団法人 プレストレストコンクリート工学会
18	公益財団法人 農学会	37	公益社団法人 日本コンクリート工学会	56	一般社団法人 溶接学会
19	公益社団法人 農業農村工学会	38	一般社団法人 日本作物学会		



## 支援をいただいている賛助会員企業・団体

1	(株) I H I	13	大成建設(株)
2	NTCコンサルタンツ(株)	14	(株) 竹中工務店
3	(一財)エンジニアリング協会	15	(株) 東 芝
4	(株) オリエンタルコンサルタンツグローバル	16	内外エンジニアリング(株)
5	鹿島建設(株)	17	西松建設(株)
6	(株) 片平新日本技研	18	日本製鉄(株)
7	サンスイコンサルタント(株)	19	日本工営ビジネスパートナーズ(株)
8	(株)三祐コンサルタンツ	20	日本電気(株)
9	JFEスチール(株)	21	(株) 日立製作所
10	(株) Spelldata	22	富士通(株)
11	住友化学(株)	23	三井化学(株)
12	全国農村振興技術連盟	24	三菱ガス化学(株)

# 2024年度 JABEE役員



	氏名	選出	所属
会長	岸本喜久雄		公益社団法人日本工学会 会長 NEDO技術戦略研究センター センター長
副会長	佐藤之彦		千葉大学大学院 工学研究院 教授
副会長	鳥居和功		株式会社日立アカデミー 統括主監
専務理事	三田清文		一般社団法人日本技術者教育認定機構 専務理事
業務執行理事	藤井俊二		元 大成建設株式会社 技師長
業務執行理事	猪股 宏		東北大学未来科学技術共同研究センター (兼)工学研究科情報広報室 特任教授
業務執行理事	橋本洋志		東京都立産業技術大学院大学 学長
理事	富田達夫		独立行政法人情報処理推進機構 顧問(前理事長)
理事	斉藤史郎		株式会社東芝 特別嘱託
理事	豊田 建		富士通株式会社 テクノロジービジネスマネジメント本部長
理事	深堀聰子		九州大学未来人材育成機構 教授
理事	望月康則		日本電気株式会社 フェロー
理事	若井明彦		群馬大学大学院 理工学府環境創生部門 教授
理事	齊藤 修	一般社団法人日本機械学会	株式会社IHI技術開発本部 本部長補佐
理事	雑賀 高	公益社団法人日本工学教育協会	公益社団法人日本工学教育協会 理事
理事	長尾雅行	一般社団法人電気学会	豊橋技術科学大学 名誉教授

	氏名	選出	所属
理事	丸井敦尚	地球・資源分野JABEE委員会	国立研究開発法人産業技術総合研究所 地質調査総合センター 招聘研究員
理事	眞先正人	公益社団法人日本技術士会	公益社団法人日本技術士会 専務理事
理事	田崎祐生	一般社団法人日本建築学会	武庫川女子大学建築学部景観建築学科 教授
理事	鈴木雅行	公益社団法人土木学会	株式会社エイト日本技術開発 東京本社 防災保全事業部地盤技術部門 技師長
理事	安藤新二	一般社団法人日本鉄鋼協会	熊本大学 先進マグネシウム国際研究センター 教授
理事	大村 仁	公益社団法人農業農村工学会	NTCコンサルタンツ株式会社 代表取締役社長
理事	根木茂人	化学分野JABEE委員会	ルートT技術士事務所 代表
理事	良永知義	公益財団法人農学会	東京大学大学院農学生命科学研究科 特任教授
理事	高橋尚子	一般社団法人情報処理学会	國學院大學経済学部 教授
理事	牧野光則	一般社団法人電子情報通信学会	中央大学理工学部 教授
理事	葛生 伸	物理・応用物理学関連学協会間 JABEE連絡協議会	福井大学産学官連携本部 客員教授
理事	辻村康寛	経営工学関連学会協議会	経営工学関連学会協議会 会長
理事	酒井秀夫	公益社団法人森林・自然環境技術 教育研究センター	東京大学 名誉教授
理事	滝澤 昇	公益社団法人日本生物工学会	岡山理科大学工学部応用化学科長 兼 大学院工学研究科応用化学専攻長
監事	福田 敦		日本大学理工学部 教授
監事	鈴木賢太		公益社団法人日本工学教育協会 専務理事

---

ご清聴ありがとうございました

**End of File**